相原元投手 古巣に恩返し

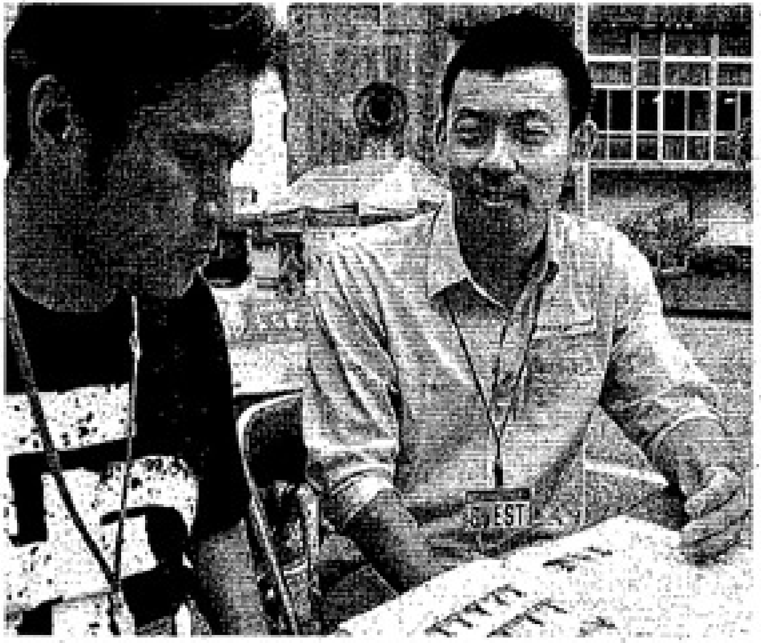
勤務先がスポンサーに

アイランドリーグ
高知FD

高知ファイティングドッグス（FD）で2005年の発足から2シーズン、投手のエース格として活躍した相原雅也さん(32)＝茨城県取手市＝が勤める東京の健康器具会社「ホグレル」がこのほど、FDとチームスポンサー契約を結んだ。相原さんは「人生で凝縮した2年間を過ごした場所。支援したかった」と喜んでいる。

（吉川博之）

2年間活躍のエース


武政重和社長＝左＝と話す相原雅也さん（越知町民総合運動場）

相原さんは中央学院大軟式野球部出身で、学生日本代表に選ばれたこともある。地元茨城県での銀行員生活を捨て、アイランドリーグに飛び込んだ。先発ローテーションの柱として2年間で28勝。しかし、NPB（日本野球機構）入りはかなわず「やり切った」思いで身を引いた。

昨年3月、相原さんは教員として野球に関わるため、福島県の私立高非常勤講師となることが決定。しかし、直後の東日本大震災をきっかけに「将来についてじっくり頭を冷やして考え」方向転換を決意した。

「非力な自分でも『ホグレル』の器具で鍛えて140㌔台の直球を投げられるようになった。その機器を広めたい、と思った」

同4月、飛び込みで「ホグレル」の社長と直談判。熱意が伝わり入社が決まった。現在、関西、九州、四国を営業活動で飛び回る日々だ。

相原さんにとって、最も「ホグレル」の器具を薦めたいのが高知FDの後輩たち。06年限りでチームを離れた相原さんは現経営陣と面識がなかったが、つてを頼ってFDの武政重和社長と交渉。

トレーニング機器をFDに納入する契約を取り付け「ホグレル」がFDのスポンサーとなることが決まった。

武政社長は「チーム出身者にこんな形で手助けしてもらえるとは」と感謝。相原さんも「選手は代わろうともFDはFD。これからも支援したい」としている。

相原さんは19日、室戸球場での徳島インディゴソックス戦で始球式を務める。久しぶりのマウンドを楽しみにしている。

夏休み予算 今年も節約

生保調査 8.3万円 4年ぶり低水準

明治安田生命保険が7日発表した夏休みに関するアンケートによると、夏休みに使う金額の平均は8万2974円で2年連続減少し、4年ぶりの低水準だった。同社は「景気の不透明さから節約志向が続き、自宅や近場で遊ぶのが人気」と分析している。

予算額の平均は前年の8万4848円より1874円少なく、2008年の7万6955円以来の水準。ただ、子どものいない既婚者に限定すると、平均額は10万191円と前年より2万6941円増えた。海外旅行をするなどの回答が多い。

夏休みの過ごし方についての調査（複数回答）では、「自宅でゆっくり」という答えが61・9%で7年連続トップ。「帰省」が39・4%、「国内旅行」が37・4%で続いた。

自宅で過ごす理由（複数回答）としては、「疲れを取りたい」が56・3%と最も多く、「（旅行などは）出費がかさむ」が続いた。

アンケートは7月上旬にインターネットで行い、全国の20～59歳の男女計1110人から有効回答を得た。

高知市

夏季大学ノート

わが国における原子力発電の昨今

大阪大学名誉教授 住田 健二（すみた けんじ）

昨年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災は、日本の戦後最大の災害だった。震災から1年半近く経過したが、被災地の復興は遅々として進んでおらず、日本がどう立ち上がっていくかの方向性も依然示せていない。中でも原子力発電をどうするかに、国民は高い関心を持っている。

いま、各地で反原発デモが盛んに行われている。しかし、原子力に代わるエネルギーが用意できるかといった現実的な議論はない。反対を叫ぶのは簡単だが、原発の問題は非常に複雑だ。

これまでに、政府や民間でつくる福島原発事故に関する報告書が六つ提出されている。残念なのは、二つの報告書以外は原子力技術者を排除されて作られていること。「原子力ムラ」への警戒心が非常に強くなっている。

安全確保し共存模索を

しかし、事故収束を行ってきたのは、地べたをはって作業してきた原子力技術者たち。「原子力ムラ」の人というだけで排除する動きはおかしい。評論家の論ばかりではなく、現場の技術者の仕事に基づいて事故を検証する時期が訪れているのではないか。そのためにも、原子力技術者たちは早く信頼を回復させないといけない。

人類は石炭や石油など、もともと地球上に存在してきたものを利用してエネルギーを得てきた。原発の核反応を伴うエネルギーは、中性子をぶつけて原子核内の結合エネルギーの変化を発生させる別次元のものだが、太陽も水素と融合してエネルギーを発している。エネルギーの大本である太陽に核エネルギーがあるのに、放射線をひたすら怖いものとして捉えるのはおかしい。人類は長い歴史の中で放射線や核エネルギーと共存してきたが、エネルギー源として核反応を利用してきた歴史はまだ浅い。核エネルギーと共存できないと決め込むのは早すぎる。工夫の仕方がないものだろうか。

今回の事故について考えると、福島第1原発では沸騰水型軽水動力炉というタイプの原子炉が機能を失った。このタイプは原子炉容器内で直接水を沸騰させ、熱交換機を使わずに直接タービンを回すため、コストを低減させることができる。

しかし、連鎖反応を制御する制御棒が炉心底部から貫通していることや、水蒸気をタービンに導く多くの配管など、複雑な構造を持っている。

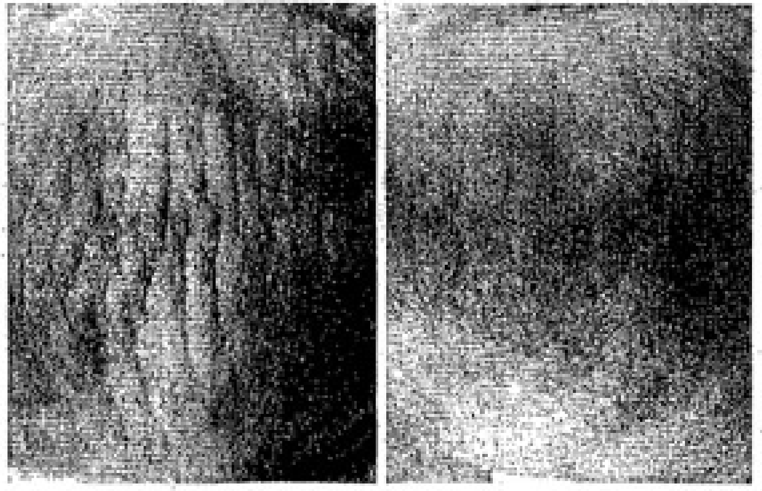
今回の事故は、原発事故防止で大切な「止める」「冷やす」「閉じ込める」の機能のうち、「冷やす」「閉じ込める」に支障が出た。

制御棒を入れて連鎖反応を停止させる「止める」には成功したが、津波に起因する電源喪失ですべての冷却能力を失った。溶解した燃料体が炉心容器を貫通して落下し、外部に出たという最悪の事態も否定できない。

原子力に長く関わった者として、適切な防止措置がとれなかったことには情けなく思う。また、現場や東電本社、政府といった主要ポイントの連携がとれてい

なかったことも
だ。
技術者が必要
きた、事故によ
れた放射線源の
によって予測す
DI（緊急時迅
響予測ネットワ
ム）の公開が遅
「不可解」と
がない。
福島での教
ら、日本のエネ
いていろいろな
れているが、ま
意できる結論
い。いますぐに
わるエネルギー
的提言も見受け
私の現時点の
民生用のエネル
育ってきた歴史
安全確保を十
て、原子力と共
可能性を探るべ
る。
（6日夜の

紫外線を当ててしわを作ったマウスの背中。42度のお湯に浸す（右）と37度のお湯に浸した場合より、しわは少なくなった（水島徹・慶応大教授提供）



皮膚

皮膚をお
と、細胞を
ンパク質が
線によるし
ことをマウ
発見したと
学部の水島
チームが7
た。米皮膚
く掲載され
チームは

甲子園きょう開幕

野球支えに震災乗り越え

岩手・大槌高 金野さん 始球式で捕

8日に甲子園球場（兵庫県西宮市）で開幕する第94回全国高校野球選手権大会の始球式で、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県大槌町の県立大槌高校3年、金野利也さん(17)が捕手を務める。津波で家族や自宅を失ったが、仲間と励まし合い、今夏の岩手大会

では13年ぶりの8
「野球が心の支えだ
槌の代表として全
したい」と誓う。(14

金野さんは震災
姉、祖母を亡くした
後の昨年4月、「
好きなことはでき
族との生活のこと
よう」と、佐々木
(31)に退部を申し
周囲の励ましを受
を続けることにな